

河川基金助成事業

「地域での川遊び」 報告書

助成番号：2022 - 7111 - 004

宮城県仙台市 学校法人ろりぽっふ学園認定こども園ろりぽっふ赤い屋根の保育園

園長 安倍 美希

2022 年度

様式9

[学校部門 幼稚園・保育所・認定こども園等]

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名		施設名			
2022-7111-004	地域の川での川遊び		認定こども園 ろりぽっふ赤い屋根の保育園			
所在地	宮城県仙台市		対象河川名	七北田川		
対象園児	年長 9人		活動時間	時間		
河川教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> 園周辺の川やその周りの自然と関わる体験を通して、生き物や自然に興味をもち疑問に感じたことを共有したり調べたりする。 年長児として川遊びに参加することで、共同性や責任感をもち最後までやり遂げようとする。 					
子どもに育成したい能力	<p>普段生活している園とは違う自然環境豊かな川や水辺で活動するかなで、自分で虫や魚を捕まえる実体験や水の中に入る事で冷たさや流れを感じることで、豊かな感性を育み、感動したことや気づいたことを言葉だけでなく様々な形で表現できる力を育成したい。</p>					
評価の観点	<p>【環境】身近にある川やその周辺の自然環境に親しみ、触れ合うなかで<u>生き物や水の流れや冷たさ等に興味関心を持つ。</u></p> <p>【表現】大好きな仲間や先生と豊かな自然環境で過ごす中で、<u>感動したことや感じたことを伝えあう。</u></p>					
学習活動の内容と成果						
<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くの用水路の観察と川の水の実験 近くの川の生き物探しとふれあい ・川遊びとカヌー体験 ・上流の川の観察 各活動後、感じたことや考えたことを年下の友達と伝えあって交流した <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用水路の観察では、近隣の川に興味関心をもつ姿がみられた。川の水の実験では五感を使い様々な発見を楽しむ姿があった。 天候の関係で実際に生き物を探す多くはできなかったので、講師が生き物を園に持ってきてくれた。採取方法や近隣の川の生き物について、知ることができた。 川遊びをすることで、川に親しみを持ったり、川の流れを意識する姿が見られた。 						
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> 川の水と水道の水の違いに気づき、どのようにしたら水がきれいになるのか友達と協力して試行錯誤することで一緒に活動する楽しさを感じている様子だった。 複数回川に入る体験をしたことで、その日によって川の流れに違いがあることに気づいたことで、園庭にできた水たまりも風が吹くことで動き出さるだろうという予測をたて、葉っぱを船に見立てる遊びを通して、物の性質の理解が深まっていった。 					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援の概要						
成果発表	成果作品			発表方法		
今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 日々川を観察したり感じたりする環境ではないため、活動が線ではなく点になってしまうことが多かった。次年度はより身近な園庭やその周辺の環境を利用することで、連続した活動へと展開していきたい。 						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-004	地域での川遊び	学校法人ろりぽっふ学園 認定こども園ろりぽっふ赤い屋根の保育園



学習活動名：川は汚いの？(用水路／保育園)4・5歳児

日付：令和4年5月23日

見られた子どもの姿：『すいどう』という絵本を見たことから、自分たちが飲んでいる水は川からきていると知った子どもたち。散歩の際に、用水路を見て「川みたい」と話す姿があった。川(用水路)の名前は分からなかったが、一番身近にある川は七北田川だと知っている子どもがいたため、明日見に行こうと話した。川の水は飲めるのか問いかけると、「汚いよ」「色は水色かな」と、自分のイメージや、絵本のイラストで表される川の色を話し、明日見に行くことに期待を持っていた。



学習活動名：川を見に行こう(園近くの七北田川)4・5歳児

日付：令和4年5月24日

見られた子どもの姿：実際に川を見てみると、水色ではなく茶色だと気付く姿があった。汲んでみると、また色の見え方が違うことにも気付く。汲んだ水には、小さな生き物が浮かんでいたり、独特なおいがしたり、触ると冷たかったり、五感を使い様々な発見を楽しんでいた。



学習活動名：スタートとゴールはどこ？(用水路)4・5歳児

日付：令和4年6月2日

見られた子どもの姿：川と海はどこかで繋がっていると、家庭で知った子どもが皆に伝える姿があった。子どもたちがよく見ている用水路も流れがあることに気づき、「どこかで海に繋がっているのかも」と話す。流れてくる方向をスタート、下をゴールと表現し、スタートはどこなのか用水路を辿り、田んぼの横を歩いていった。途中で車通りの多い道路になってしまい、その先が分からなくなった為園で地図を見ると、用水路は川に繋がっていること、その先は海ということに気付いた。地図を見た子どもは、友だちに説明し発見を共有していく姿が見られていた。



助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-004	地域での川遊び	学校法人ろりぽっぷ学園 認定こども園ろりぽっぷ赤い屋根の保育園



学習活動名：川を知る(保育園)5 歳児

日付：令和4年6月7日

見られた子どもの姿：川の講師を呼び、川について、入る時や生き物観察の際の注意点を学んだ。用水路の探検から川に対して興味を持ち始めていたため、次の活動で、川はどこから流れてくるのかを詳しく教えてもらうことを約束すると、次回を楽しみに期待を持つ姿が見られた。

室内での生き物観察も行い、川にいる生き物について興味を持つ子どもの姿もあった。

5歳児だけの活動だったため、4歳児は興味を持ち「なにを触ったの」等と聞き5歳児の子どもが教える姿が見られた。



学習活動名：茶色い水をキレイにしたい(園庭)4・5 歳児

日付：令和4年7月29日

見られた子どもの姿：泥水遊びをしていた際に、「この水はキレイになるのかな」とふと考えた子どもたち。「川の水も飲む水になるけどキレイじゃなかった…」そこで実験を始める。キレイな水を足してみたり、ふるいにかけてみたり試す姿があった。一人の子どもが炭を入れたらキレイになる、と話し、炭を入れて一日置くことにした。

次の日、少しキレイになっていた水を見て喜ぶ姿があったが、よく見ると下に泥が沈み2層になっていたことから、「炭のおかげではなく泥が沈んだだけ」と予測する子どもの姿が見られた。



学習活動名：川を感じる(保育園)5 歳児

日付：令和4年8月3日

見られた子どもの姿：川の講師を呼び、生き物観察、採取方法を学んだ。山の方が上流、海の方が下流だということを知り、魚を採取するイメージを楽しんでいた。身近な川の七北田川にも観察したのと同じ魚がいると聞き、興味を持つ姿が見られた。子どもたち同士で、網の持ち方や水の流れを確認したり教え合ったりしながら協力する力が育まれていった。



注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください(枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-004	地域での川遊び	学校法人ろりぽっぶ学園 認定こども園ろりぽっぶ赤い屋根の保育園



学習活動名：川に親しむ(七北田川)5歳児

日付：令和4年9月13日

見られた子どもの姿：川の講師を呼び、近くの川に入り、ボートや浮く体験、生き物採取を行った。前回の生き物観察を思い出し、カニのオス・メスを判別しようとする姿が見られた。川の流を感じ、「気持ちいい」と話し、川に親しみを持っていて過ごしていた。浮く体験では、力を抜くと沈まないこと、下流にゆっくりと流れていくことを全身で感じ、感動すると共に一人で浮くことができたことで自信に繋がる姿があった。園に帰ってから様々な友だちや保育者に活動の内容を伝え、4歳児の子どもたちは話を聞いたり写真を見たりする中で興味や憧れを持つ姿が見られた。



学習活動名：川を感じる(七北田川)5歳児

日付：令和4年9月29日

見られた子どもの姿：川の講師を呼び、ボートの体験を楽しんだ。前回の経験から、川の流を意識する姿があり、前回と比べての流の穏やかさに気付く子どもの姿も見られていた。川の上流は泉ヶ岳だと知り、「行ってみたい」と話す姿があった。



学習活動名：川を知る(泉ヶ岳)5歳児

日付：令和4年10月12日

見られた子どもの姿：身近な川を上っていくと、上流の山の川(泉ヶ岳)にたどり着くことを知り、行くことを楽しみにしながら活動に参加した。森の中を進み、周囲の環境が七北田川とは全く違うことに気付く子どもたちの姿があった。狭さ、石の大きさ、水の流れる音、冷たさなど、感じたことを思い思いに話し、五感で自然を楽しんでいた。園に戻ると、遠くの川に行ったことに興味を持った4歳児クラスの子どもたちに、川や周辺の様子を詳しく教える子どもたちの姿が見られた。経験したことを言葉にしてまとめ、分かりやすいよう話そうとする力が育まれていた。4歳児クラスの子どもたちは、次年度に川の活動をすることに期待を持っているようだった。

身近な用水路から、興味が川へと変わり、上流を見に行く活動に繋がっていった。一年の活動を通して、川の流や周囲の環境について特に興味や関心を持っていた。

手洗うから
きいてね



床に耳をつけて水の音が聞こえるか
皆で耳をすましています。

きいた
きがする!



「あとでまた聞いてみようかなー」と
好奇心や探究心の目芽える姿が
ありました。

水のおと、
きえる??

『すいどう』という絵本を見た子どもたち。
すいどうかんやげすいかんがあると知り、



食欠んでいる水は川から来ていることにも
驚き。「どこの川?」「七北田川...?」と
子どもたち。



わが園にしたい川の七北田川

今日は、暑くて園庭に出ると「お水使いたい!!」と話し合っていた子どもたちが、海があったのでタライに水を汲んで、手足をつけて水の感触を楽しんでいました! 遊んでいくうちに段々と泥めそびへと変化し、

気が付くと川づくりへと発展してしまっています!!



長くしたい!!

「大きい、長いにしたい!!」と目標を決めて取り組む子どもたち。



「まぐ、お水入れたい!!」



七北田川だよ!!

モクダ川を見に行く活動もある為、自分たちなりの川をイメージして表現することを楽しんでいました。

始めは、数人で遊んでいた川づくりも友だちの一生懸命な姿を見て自然とみんなが集まってきた、7人7人での川づくりになっていました。



五感を使って思いやり遊んだら、「五感で感じる」体験を大切にしたいですね。

みんなが共通のイメージを持って楽しんでほしい。

以前読んだ『すいどう』の絵本から
みんなが飲んでいる水は川から来ていると知った子ども達。



「じゃあ明日川の水を飲んでみたらい？」と
保育者が提案すると子ども達は
「飲めるわけないじゃん」「汚いもん」と
話してしました。



実際の
水道の水も見て
みました。
水道の水はきれい
だね

じゃあどのくらい
汚いんだらう？

子ども達にたげかけ
てみると

- ★くさいんだよー...
- ★色は水色

と子想いが「拳が」
りました。



水色という子想いは
絵本やイラストの影響

明日見に行ってみよー!

あー！！

水色で描かれていることか

夕日にことから子ども達にとってその印象が強いようです。

実際に明日川を見ても子想いとどう違うのか合っているのか
調べていきたいと思っております。

5/23 さいがせんせい

川を見に行こう!!

「川の色は青とか水色!」
 「タニシいるかな?」
 確かめに行ってみよう!!



その前に...泉中央南園に。
 くるめ、かしのき組さんに
 昨日見つけたタニシ(?)について
 教えたい!と、行ってきました!!

高く
 おりられない...



草が無い道を見つけ
 進んでみると...!!
 階段のような場所を発見。

川が近い!

初めて川を近く見て
 色んな発見を
 楽しんだ子どもたちです。



茶色い....

汚れてる...?

ちろちろと
 下に...!

赤ちゃん...?

食べたいなぞ...?

どうしてら食べるかな?





ウォーターライダー
みたい!!!

用水路のスタートとゴールはどこ?



あっちから流れてるから
スタートはあっち!



用水路の水は
どこから来て、
どこまで流れている
のか?
考えてたどって
みました。

このハンドルはなに...?



水が
たまってる



まだ、つなごうぞう



また
ハンドル
あった

ゴールは
海!



園で“地図を見よう”と見みると、
用水路は七北田川に繋がって、川は海に流れている
ことに気付いた子どもたち。
でもスタートはどこだろう?
感じた疑問を探究していく気持ちが増えてきています。



茶色い水を
キレイにしたい!!

泥の水が綺麗な水になるには
どうしたら良いだろうね。
と、ふと考えた子どもたち。
“だって川の水も飲む水にするらしい...”
“川の水も別々にキレイにしたいよね”

ふるいをかけて
泥をこしてあげて!!

うーん... まだ茶色。

5人「キレイな水を足したらキレイになるかも！」
5人「いや!キレイにならないと思う。茶色だよ」と
やってみたら...
「ホラ!茶色い水が、増えちゃった!!」
みんなでお悩んでいると...
5人「炭を入れたら、水キレイになって聞いたことがある」
前のさくらさんが使ってたやつ、園庭に残ってるかも...と
探してみると、なんと炭を発見。



入れ、待ってみよう!!

月曜日まで待ってみることに...
実馬食ってワクワクするね...♡と楽しんでいた子どもたち。
探究する心が育っていました!



～川を感じる～ さくら組のおべんきょう



山の方が上流、
海の方が下流だと教えてもらい。

川の生き物を触ったり、観察をしたり
つかまえ方を教えてもらったりしてさくら組の子どもたち。



網の向きを
考えながら
魚をつかまえる
イメージを
楽しませよう。



カニを触った前回の活動を覚えていて、お腹の
模様を見ようと頑張った[名前]くん。

お尻の方を...こうやって...



[名前]ちゃんは
両手で丁寧に
すくって魚を
移動させて
います。

みんな
できなかったら
[名前]ちゃんからね

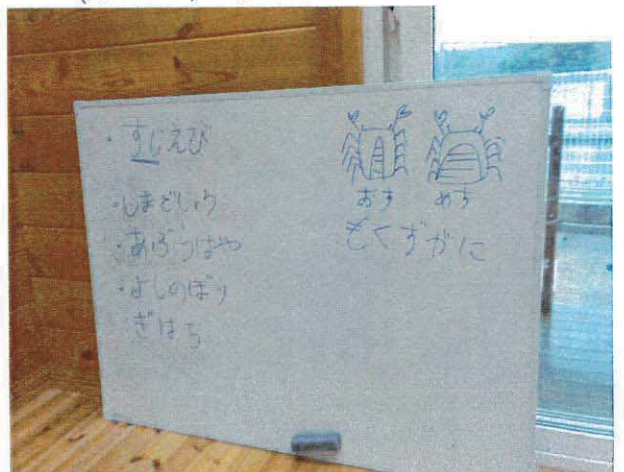


今日の魚は七北田川にもいるそうです
身近な生き物に触れることができた貴重な
日になりました！！



トゲがある
魚を観察...

ヒゲ
みたいなもの
ある



さくら組
川に親しみ♡



脱皮したばかりのカニを発見!

フーフーフーフー!



初めて川に入った
子どもたち。
「冷たい!」「振きづらい!」
「ちょっとこわい」「たのしい!」
沢山のつばきがあり
ました。

特別に
ボートに
乗りました♡



たのしかったけれど
疲れた〜と、
バスの中では目をとじて
休憩をしました。
川に入り
びしょ濡れ
楽しさを体で感じた
子どもたち



「浮いてみたい!」
と浮く体験も
してみました。
すい〜と流れる
感覚に
「気持ち良い♡」
と子どもたち。



ちゃん



子どもたち
でした!



らん



ちゃん

川を感じる...
2回目



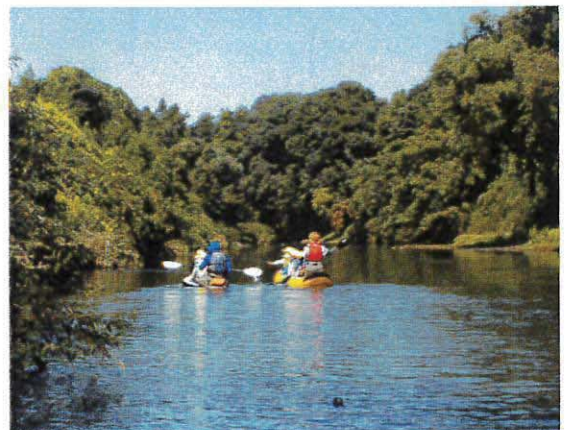
前はいなかった
大きな魚を
見つけたリ...

さけよ
いた!!



皆がボートに乗り流れを感じたりして
楽しめました。

七北田川の上流には山があり泉ヶ岳と
いうんだ...と知ると「行ってみたい」と
興味を持った子どもたちでした。



タイトル

七北田川との違い…

令和4年 10月12日(水)

ひびきせんせい



つめたい!



皆が入ったことがある七北田川の上流、泉ヶ岳に川を見に行きました。山を登っていくと、「さむい！」と話していた子どもたち。上流で水を触ってみると「つめたい！」

七北田川と比べてどうだった？と聞くと、「水が冷たかった」「狭かった」「木が沢山あった」「石が大きかった」…など、違いに気付く姿が多く見られました。

泉中央南園の年長児、かしのき組とお互いに自己紹介をして仲良くなる子どもたちの姿もありました。自然に触れ違いに気付いたり、友だちの輪を広げたりと、いきいきと楽しんで過ごした子どもたちでした。

タイトル

川の振り返り

令和5年3月22日(水)

ひびきせんせい



このお魚ちゃんはこのスタンプと一緒に縮
Tから...



今までの川の活動を振り返り、川博士の菅原さんと川の生き物のスタンプでバッグを作りました。
消しゴムで作ったというスタンプを見て「すがわらさん、すごーい！」と子どもたち。活動を振り返る中で、ボートに乗ったことが印象に残っていたようで、「ボート楽しかったね」と盛り上がりました。■ちゃんは生き物に触れる活動をしたことを思い出し、どんな魚がいたかな？と話していくと「アブラハヤ」…など、答える姿がありました。スタンプを押すときも、名前を確認しながら押していた■ちゃん。楽しかった！という思いだけでなく、しっかりと興味や関心に繋がっていたのですね。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7111-004	地域の川での川遊び	学校法人ろりぽっぷ学園 認定こども園 ろりぽっぷ赤い屋根の保育園

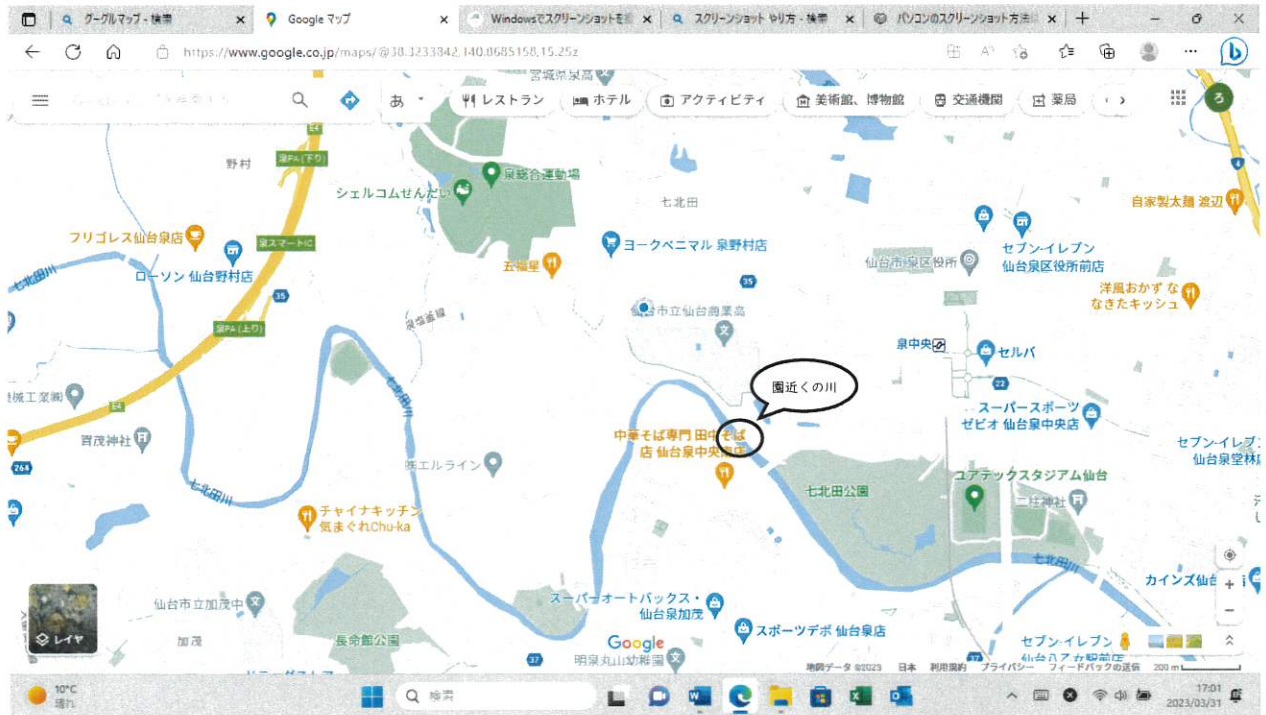
主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。

※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。

(縮尺は 1/50 万～1/100 万程度)

※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。



助成事業の主な実施箇所